

有害プランクトン情報

(令和2年度 - No. 5)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	8月 第1回	内湾 (8地点)	8/3	内房 (7地点)	8/5
		8月 第2回	内湾 (8地点)	8/17	内房 (7地点)	8/18
		8月 第3回	内湾 (8地点)	8/31		

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150% 以上) は 8/3 (富津沖を除く内湾の全域), 8/17 (羽田沖~姉ヶ崎沖) および 8/31 (姉ヶ崎沖) に確認されました。優占種は 8/3 が渦鞭毛藻のプロロセントラム属, 珪藻のスケルトネマ属, 8/17 は珪藻のシュードニッチア属, 8/31 が渦鞭毛藻のギムノディニウム属, プロロセントラム属, スクリプトシエラ属などで、いずれも有害プランクトンによる赤潮ではありませんでした。
- ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - アレキサンドリウム属等の貝毒原因プランクトンは確認されず、貝毒は検出されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - ディノフィシス アキュミナータは 8/3 の富津沖~アクアライン南部, 盤洲南部, 羽田沖の各地点 (最高密度はアクアライン北部の 0.5 細胞/mL), 8/17 の富津沖~アクアライン南部, 千葉沖の各地点 (最高密度は千葉沖の 0.5 細胞/mL), 8/31 の富津沖の地点(密度は 0.2 細胞/mL)でみられました。
 - その他のディノフィシス属は 8/3 の富津沖~アクアライン南部の地点でディノフィシス ロツンダータ (密度はいずれも 0.1 細胞/mL), 富津沖とアクアライン南部でディノフィシス インファンディブラ (最高密度はアクアライン北部の 0.2 細胞/mL) がみられました。
 - 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- ※ 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150% 以上) は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

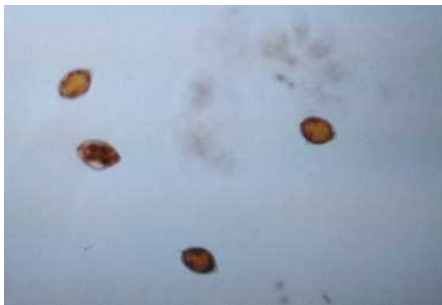
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - アレキサンドリウム属等の貝毒原因プランクトンは確認されず、貝毒は検出されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - ディノフィシス アキュミナータは 8/5 の第2海保沖~保田沖 (最高密度は第2海保沖 0.6 細胞/mL) でみられました。
 - ディノフィシス インファンディブラは 8/5 の浦賀沖 (密度は 0.05 細胞/mL) の地点でみられました。

○ 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

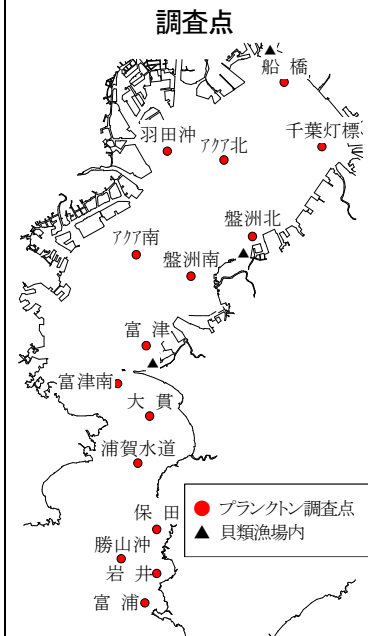
- | | | |
|---------|-------|---|
| 8/3,5 | 内湾・内房 | 珪藻 スケルトネマ属, キートセロス属など
渦鞭毛藻 プロロセントラム属 |
| 8/17,18 | 内湾・内房 | 珪藻 シュードニッチア属, スケルトネマ属, リゾソレニア属など |
| 8/31 | 内湾 | 渦鞭毛藻 ギムノディニウム属, プロロセントラム属, スクリプトシエラ属など |



プロロセントラム属
(8/3 アクアライン北部)



シュードニッチア属
(8/17 千葉灯標)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp